

## 中期的目標

□『見つけよう「大好き」、育てよう「大好き」』をキャッチフレーズとして児童の「好き」(主体的に取り組む原動力)を伸ばし、大切にしていきます。

□ 保護者・地域と育てたい子供像を共有し、共に児童を育成します。

□ 信頼される学校づくり＝安心・安全な学校づくりを目指します。

□ 教職員は、職層や役割に応じた職務を遂行し、対応力や問題解決能力の高い組織をつくります。

## 改善方策

・学校が好き、勉強が好き、運動が好き、友達が好き、先生が好き、そして、「自分が好き」な子に育てたいと考えます。自分の力を信じ、活動的で前向き挑戦できるよう、教職員は、一人一人の児童理解を深め、よさを認め励ましていきます。**【具体目標】自ら課題を見つけ、解決に向け挑戦する活動を取り入れ主体的・対話的で深い学びができる授業を展開します。**

○保護者会、学校公開等の行事及び学校ホームページ、学校だより等でわかりやすい教育情報を発信し、育てたい子供像を共有し、共に児童を育てる学校を目指します。**【数値目標】更新回数を毎授業日ごと、月間アクセス総数9200超を目指します。****【具体目標】**学校だより等では、保護者・地域の皆様のアンケート回答やご意見に応え、改善に向けての方策を提示していきます。

児童理解に基づいた学級経営を行い、児童が安心して落ち着いて、気持ちよく生活や学習 ができる環境づくりを行います。

・危機管理体制の更なる改善、整備を図ります。

**【具体目標】「子供のいるところには、教職員がいる。教職員のいないところには、子供もいない。」を徹底し見守り体制を強化します。**

・毎月の安全指導や安全点検、避難訓練、交通安全教室、セーフティ教室、地域安全マップづくり等を通して、危機を予見し、回避しようとする力の育成を図ります。

・手洗い、消毒等の徹底を図り、衛生環境を保ちます。

・保護者への緊急時対応マニュアル「天候や地震等、不測の事態での児童の安全確保について」を適宜、改訂し、危機管理体制の更なる整備を図ります。

・アレルギー対応マニュアルに基づいた体制を強化、徹底し、安全に努めます。

・主幹教諭、指導教諭及び主任教諭は、職層に応じた分掌業務の適切な進行管理に努めるとともに、若手教諭の育成担当者として位置付けたOJTによる人材育成を計画的に実施します。

**【具体目標】主任教諭と教諭等で育成対象者とのペアを組み、日常的な育成を行う体制づくりを行い教職員の能力の向上に努めます。**

・学年組織の指導力の強化を図るため、学年主任に加えて、学年副主任を定めます。**【数値目標】週1回以上、学年会を実施し、学年組織内での情報共有、研鑽を高め、それを児童の指導、支援に反映させます。**

・改善提案型の業務を遂行し、組織の活性化を図ります。

**【数値目標】教職員からの業務改善提案を積極的に推進し、年間10件以上の業務改善をします。**

中期的目標
<p>□ 基礎基本の定着と学力の向上＝誰一人置き去りにしない教育の推進</p> <p>□ 「一人ひとりが真剣に考える授業、互いの意見を交換し、考えを深め合う授業」を目指し、教員の授業改善、授業力の向上に努めます。</p> <p>□ 地域の教育力を生かした学習活動を実施します。</p>

改善方策
<p>○児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、学ぶ意欲を高め、思考・判断・表現力を育成します。</p> <p>〔具体目標〕</p> <p>・少人数指導やチームティーチングの指導内容を充実させる。習熟別や課題別など、学習形態を工夫し、個に応じた学習を進めます。・単元構成や導入の工夫に努め、子どもが意欲的に学習に取り組める魅力ある授業の展開に努めます。・全教育活動を通して、「ことばの力」の育成を計画的、系統的、日常的に進める。・スピーチ活動に前向きに取り組むことで、思考力、表現力を育てます。</p> <p>・学年×10分間以上の家庭学習を推奨し、学習習慣を身に付けさせます。調べ学習、自学ノートなど、宿題の出し方を工夫します。・「取り出し授業」や「花の子クラブ」を行い、学力の向上を図ります。</p>
<p>・「問題解決的」で「主体的・対話的で深い学び」の視点で、児童に学びの楽しさや喜びを味わわせます。</p>
<p>・地域の教育資源を生かした学習内容を学年毎に、学習指導計画に位置付け、その評価、改善に努めます。〔数値目標〕 地域の教育資源を生かした授業を、各学年年間2回以上実施します。</p>
<p>・地域人材活用授業を展開する場合、授業のねらいを授業に協力いただける地域や保護者の方と共有し、同じ方向を向いて指導に当たることが重要であると考え実践します。〔具体目標〕子供たちにとって深い学びにつながるよう授業の展開を教員が工夫します。また、人材活用授業が継続・発展できるように学年で記録を残し、反省を行い、来年度の担任に申し送りをするようにします。</p>
<p>・学校と地域との連携を更に進め、地域行事や地域ボランティア活動等への参加を積極的に促し、児童の市(区)民性を高めます。</p>
<p>・下学年対象者に、月曜日6校時「クラブ活動・委員会」の時間を活用して、少人数・個別学習指導教室「花の子クラブ」を開催します。〔具体目標〕少人数指導により個々の児童にできる喜び、わかる喜びを味わわせます。</p>

中期的目標
<p>□ 生活指導の評価・改善・充実を図ります。</p> <p>□ 人権尊重の精神に基づき、人を思いやる気持ちや自他共に大切にすることを養います。</p> <p>□ 基本的な生活習慣や望ましい運動習慣を身に付け、健康増進や体力向上への取組を充実させます。</p> <p>□ 特別支援教育・教育相談の充実を図ります。</p>

改善方策
<p>・明るいあいさつ、正しい言葉遣い、きまりを守る、時間を守る、話を聞く、廊下歩行、学習準備、整理整頓等を主体的にできるよう指導します。</p> <p>・全学級が共通して取り組む「花の子スタンダード2020」を策定し、児童が安定して学べる学習、生活環境を整えます。【具体目標】年度当初「花の子スタンダード2020」を策定し、学期毎に児童及び教員がその定着を評価し、改善します。保護者との共有も図ります。</p>
<p>・「人格の完成を目指して」の取り組みを充実させ、「人としてなすべきこと、人として決してしてはいけないこと」等を学び、人間性豊かな社会の形成者としての児童を育てます。</p> <p>・「自分を大切に、友達を大切に」という「心」を「形」として表せる児童を育成します。【具体目標】年度当初から各学年の「あいさつ運動」を行いとともに、学年ごとの「あいさつスローガン」を全校朝会で宣言させます。</p>
<p>・いじめを絶対にしない、させない環境づくりを推進し、相談体制を明確にします。【数値目標】「いじめを0(ゼロ)」をねらいとした授業を年間3回以上実施します。月ごとに「学校生活アンケート」等を実施し、いじめの未然防止・早期発見・解決に組織的に取り組みます。</p>
<p>・基本的な生活習慣や望ましい運動習慣を身に付けるため、学校から教育情報をわかりやすく発信します。</p>
<p>・低中高学年に特別支援コーディネーターを置き、配慮を要する児童の現状把握や対応を 学校・家庭・専門機関等と共有、連携して進めます。【具体目標】都任用スクールカウンセラーと区任用スクールカウンセラーが月1回程度、わかりやすい教育情報を発信し、教育相談や特別支援教育への理解を深めます。・児童の特性にあった支援を推進するため、特別支援教室の活用、連携を重視します。・不登校傾向児童の家庭との連携を図り、改善のための支援体制をつくっていきます。</p>

特別活動・その他

中期的目標

- 児童に自主、自発を促し、達成感を味わわせるとともに、豊かな人間関係を構築する力を育成します。
- 地域行事への参加や地域との交流活動等を通じて、地域と共に育て、地域への愛着と帰属意識を高めます。

改善方策

- ・学校行事や特別活動等を通じ、高学年には、学校の代表として役割を与え、中学年には、人のかかわりの機会を多くし、低学年には、活動そのものを楽しませられるようにします。**〔具体目標〕花の子交流活動をととして企画したり、実際に触れ合い、問題に対しては自ら解決に向かうよう実践することで社会参画の意識やよりよい人間関係の形成ができる児童を育成します。**
- ・地域関係機関における行事の積極的なアナウンスを地域の方が自ら呼びかける場を学校で提供し、児童の参加や交流活動を進めます。
- ・地域やPTA主催の行事に、教職員がすすんで参加し、地域の中での子供たちの実態を知ったり、地域・保護者との交流を深めます。
- ・90周年を機に、地域の移り変わりや本校の歴史に触れ、郷土愛を育てます。**〔具体目標〕式典を通じて、「花の子」の良さが発揮でき、「地域も学校も友達も自分も好き」と実感できる機会とする。**

中期的目標

- 校内研究や自己申告授業等とおして授業力向上を目指し、自己研鑽に励み、教員間で相互に高め合う体制を築きます。
- 教員間での育成体制を強化します。
- 「SDGs(持続可能な開発目標)」を重点研究課題として取り組み、授業の充実を図ります。

改善方策

- ・校内研究や人事考課制度等での授業公開を通じて、授業改善に取り組み、授業力の向上を図ります。  
**〔数値目標〕「児童自らが学び、共に高め合う授業」を目指し、全教員が個別テーマを設定し、年2回以上の公開授業を行い、授業改善に取り組みます。**
- ・自己申告での面談を含め、教職員とのヒアリングを徹底して、目標を設定・共有し、その達成のための取組をPDCAサイクルで常に見直し、改善を図ります。
- ・リアリティーの高い事例に基づいた研修を充実させ、体罰をしない・させない・許さない環境づくりを推進します。また、教員から管理職への相談体制を築きます。
- ・「持続可能な発展のための教育(ESD)」の推進を図ります。  
**〔数値目標〕「SDGs(持続可能な開発目標)」を重点研究課題として取り組み、各学年で単元開発を行い、授業研究を各学級が1回以上行います。**
- ・主幹教諭、指導教諭及び主任教諭は、職層に応じた分掌業務の適切な進行管理に努めるとともに、若手教諭の育成担当者として位置付けたOJTによる人材育成を計画的に実施します。  
**〔具体目標〕主任教諭と教諭等で育成対象者とのペアを組み、日常的な育成を行う体制づくりを行い教職員の能力の向上に努めます。**
- ・教育課題の解決に取り組む過程で、一人一人の教育の課題解決能力の向上を図ります。

能力開発

\_\_\_\_\_